

てんかん地域診療連携体制整備事業

2021年度第1回てんかん診療支援コーディネーター研修会

全国てんかん対策連絡協議会

2021年8月1日 10:00～

第1回てんかん診療コーディネーター研修会

てんかん地域診療連携体制の現状と移行医療

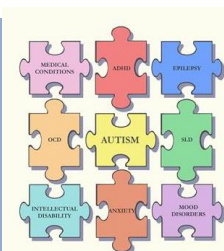
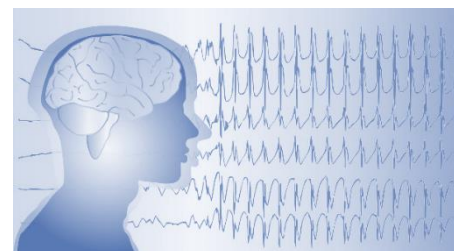
国立研究開発法人

国立精神・神経医療研究センター病院

てんかんセンター 中川栄二

NCNP 厚労省全国てんかん診療拠点

The National Organizer of Designated Institutions for Epilepsy Care



2021年度第1回てんかん診療支援コーディネーター研修会・全国てんかん対策連絡協議会

開催月日 2021年8月8日（日）10時開始 ZOOMウェビナー開催

講師： 国立精神・神経医療研究センターてんかんセンター

第一部 10時～ てんかん診療支援コーディネーター研修会（各講演研修30分）

1. 全国てんかん地域診療支援整備事業の現況 外来部 中川 栄二
2. 小児のてんかん外科 脳神経外科 岩崎 真樹
3. PNES（心因性非てんかん性発作）のマネジメント 精神科 谷口 豪
4. 小児期のてんかんの特徴とその対応 小児神経科 齋藤 貴志

12時～12時半休憩

12時半～14時半

5. てんかんに関する遺伝の基礎 小児神経科・遺伝カウンセリング室 竹下 絵里
6. てんかん患者が歯科にかかるとき 歯科 福本 裕
7. ケトン食の患者さんへの導入について 栄養科 齋藤 隆夫・小児神経科 住友 典子
8. てんかんと精神看護「不安の強い方への対応」 看護部 佐伯 幸治

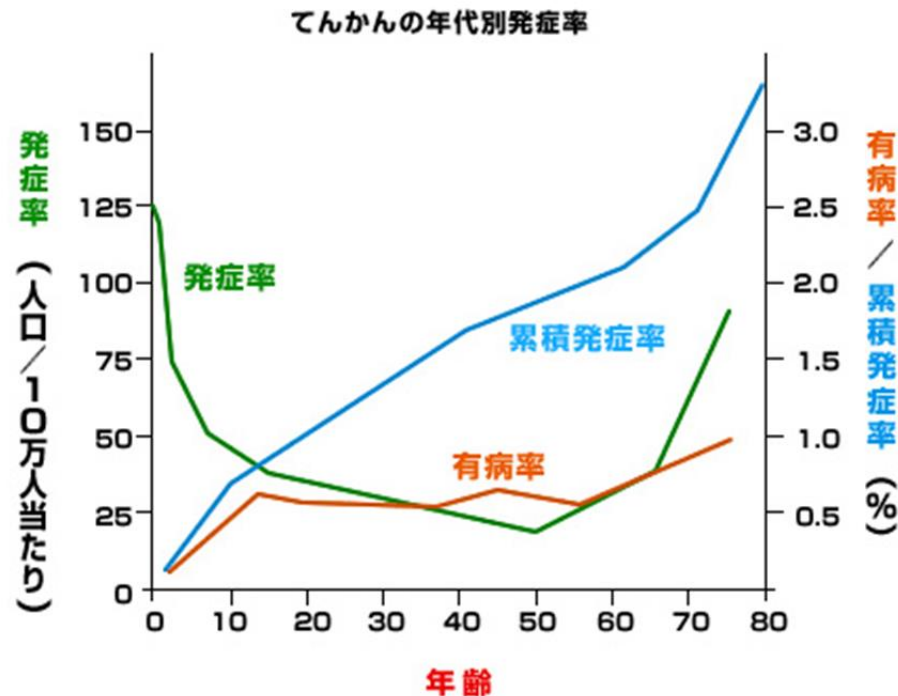
第二部 15時～

2021年度第1回全国てんかん対策連絡協議会

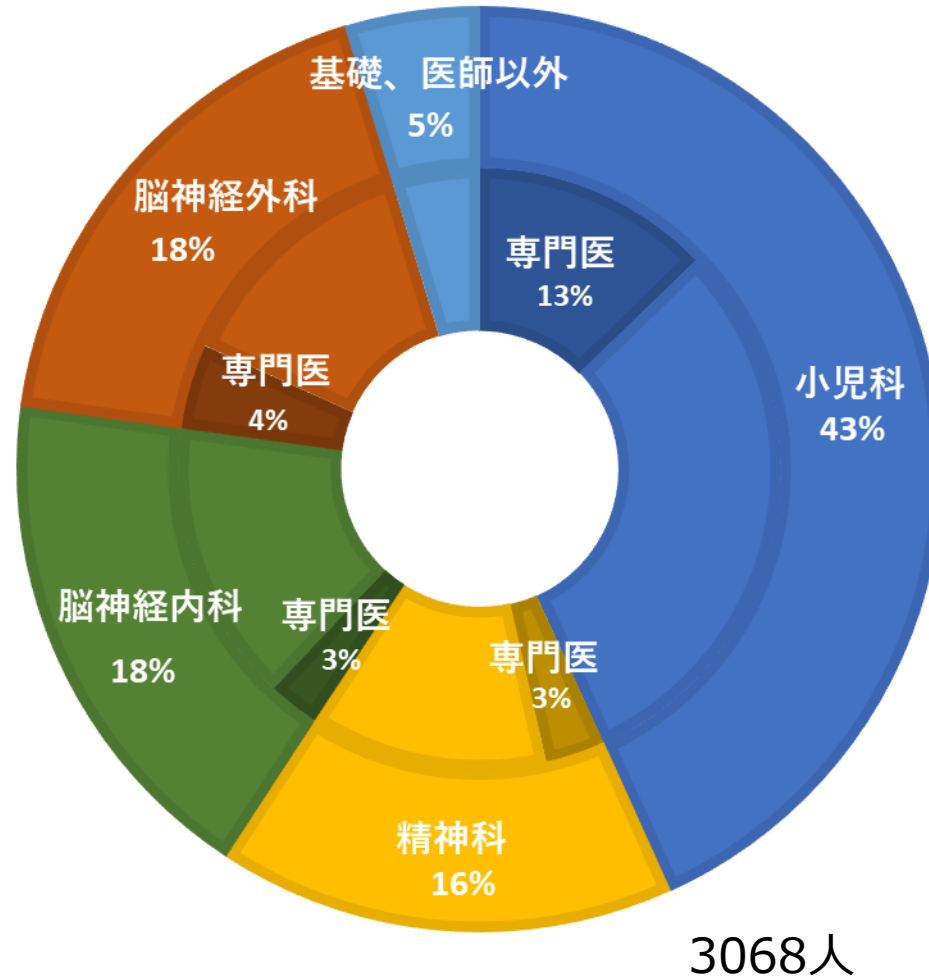
国立開発法人 国立精神・神経医療研究センター 全国てんかん支援拠点

てんかん患者数、増加傾向か減少傾向か、治療の現状

- てんかんは、小児から高齢者まで、どの年齢でも誰でもが発症する可能性がある患者数の多い病気（**0.8～1%：本邦約100万人**）
- 特に**高齢者の発症率は高く**、高齢者人口の増加しているわが国では、今後更にてんかん医療の必要性が増加する
- てんかん患者の7～8割は適切な内科的・外科的治療により発作が抑制され、日常生活や就労を含む社会生活を営むことが可能である
- わが国では**成人てんかんを診る専門医**が不足している
- **てんかんに対する知識不足と偏見**から、患者の社会進出が妨げられている



日本てんかん学会会員構成



日本てんかん学会会員構成

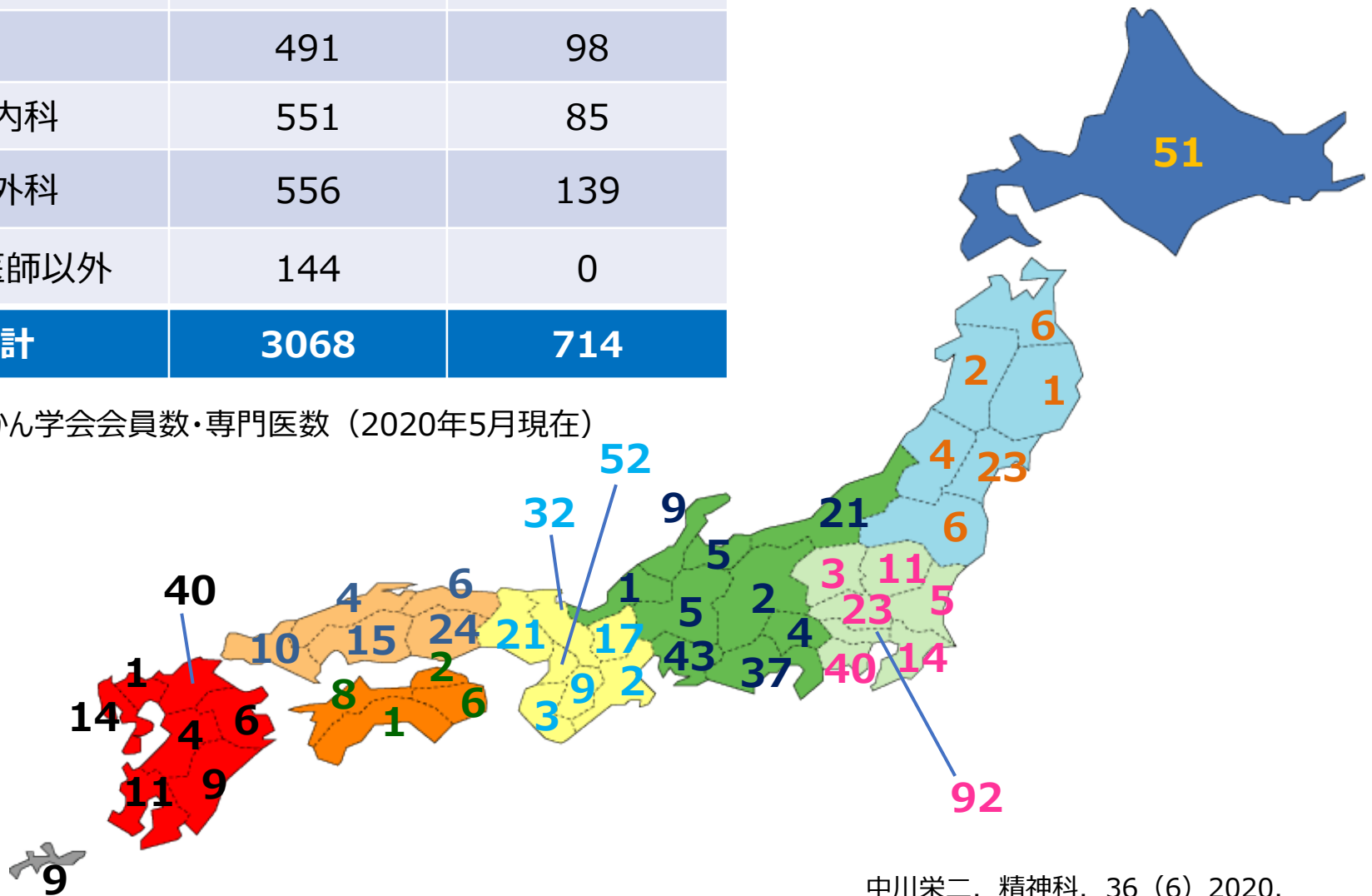
(2020年9月現在)

中川栄二. 精神科. 36 (6) 2020.

都道府県別のてんかん専門医

診療科	会員数 (人)	専門医数 (人)
小児科	1326	392
精神科	491	98
脳神経内科	551	85
脳神経外科	556	139
基礎・医師以外	144	0
計	3068	714

てんかん学会会員数・専門医数 (2020年5月現在)



てんかん地域診療連携体制整備事業

社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課

てんかん患者が、地域において適切な支援を受けられるよう、てんかん診療における地域連携の在り方を提示し、てんかん拠点医療機関間のネットワーク強化により全国で均一なてんかん診療を行える体制を整備。

現状と課題

平成30年度からの第7次医療計画により、各都道府県において、多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築に向けて、「良質かつ適切な精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針」を踏まえて、多様な精神疾患等ごとに医療機能を明確化することとされており、全国拠点機関として国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターを、てんかん診療拠点機関として8か所の都道府県を指定し、各都道府県のてんかんの医療連携体制の構築に向けて、知見の集積、還元、てんかん診療のネットワーク作り等を引き続き進めていく必要がある。

事業概要

【地域】

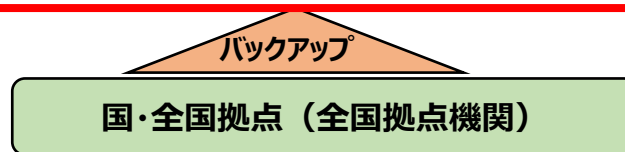
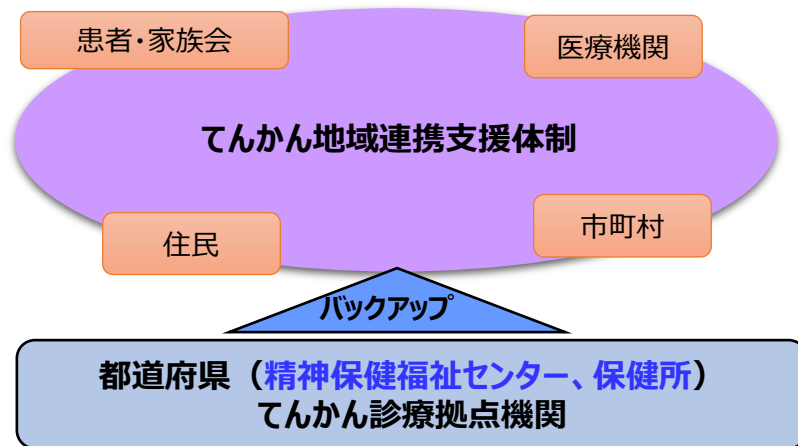
てんかんの特性や支援方法に関する知識が浸透するように取り組むとともに、市町村、医療機関等との連携を深化し、患者・家族への相談支援や啓発のための体制を充実すること等により、適切な医療につながる地域の実現を目指す。

【都道府県（精神保健福祉センター、保健所）・てんかん診療拠点機関】

第7次医療計画に基づいて、「都道府県拠点機能」「地域連携拠点機能」「地域精神科医療提供機能」を有する医療機関を指定し、都道府県との協働によって、てんかんに関する知識の普及啓発、てんかん患者及びその家族への相談支援及び治療、他医療機関への助言・指導、医療従事者等に対する研修、関係機関との地域連携支援体制の構築のための協議会を開催する。また、てんかん診療支援コーディネーターを配置し、てんかん患者及びその家族に対し、相談援助を適切に実施する。

【国・全国拠点（全国拠点機関）】

各てんかん診療拠点機関で得られた知見を集積し、てんかん診療における地域連携体制モデルを確立すると共に、都道府県・各診療拠点機関への技術的支援を行う。



期待される成果

- ① 地域住民や医療従事者に対して、てんかんに関する正しい知識の普及
- ② てんかん診療における地域連携体制構築、てんかん診療の均てん化

てんかん地域診療連携：移行期医療



双方向性の支援

新生児期・乳幼児期・学童期

思春期・成年期

高齢期

てんかん患者の脳波・画像・代謝・発達・遺伝学的診断
内科的治療・外科的治療

精神運動発達遅滞・発達障害・精神症状への対応支援



福祉・就学・就労・社会適応への対応

小児医療から成人医療への連携

女性の妊娠・出産への対応

施設間合同検討による
適切な診断・治療選択、
地域連携



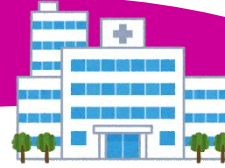
てんかん地域診療コンソーシアム

二次・三次診療

X大学病院
てんかんセンター
てんかん地域診療拠点



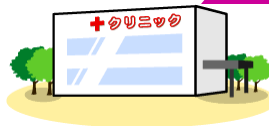
Y大学病院
精神科、小児科、
脳神経内科、脳神経外科



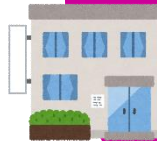
総合病院
精神科、小児科、
脳神経内科、脳神経外科



一次診療



クリニック
小児科、内科、脳神経外科



クリニック
精神科



障害児（者）施設

てんかん治療医療連携協議会

診断・治療・リハビリ

- ・てんかん精査
- ・てんかん外科治療
- ・精神医学的対応
- ・発達評価、発達障害対応
- ・遺伝学的対応
- ・就学・就労支援相談

一次診療

地域病院
小児科



療育センター
発達・発達障害



てんかん協会
てんかん患者会

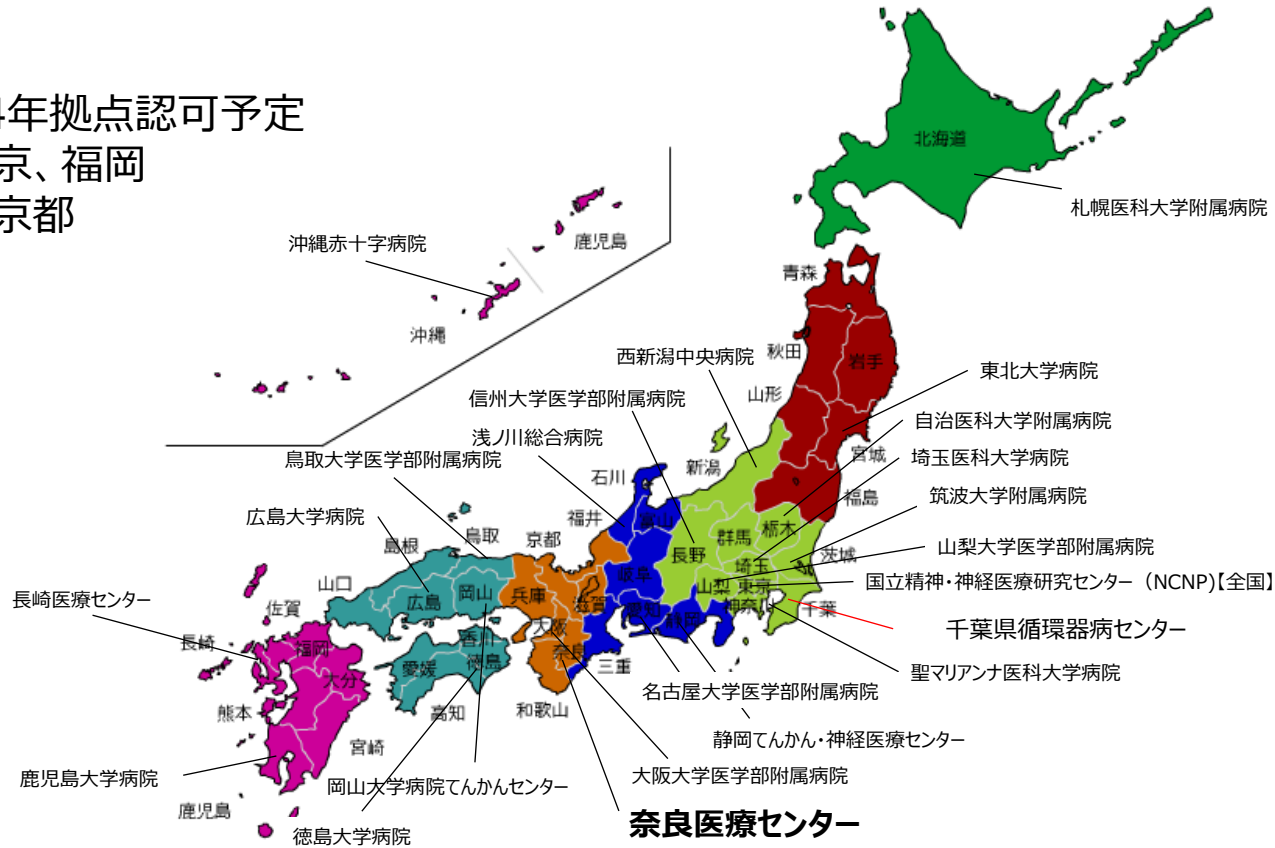
行政・福祉



てんかん診療全国拠点機関及びてんかん診療拠点機関 (令和3年8月現在)

てんかん診療全国拠点機関 (NCNP全国 1カ所) てんかん診療拠点機関 (全国22カ所)

令和3~4年拠点認可予定
群馬、東京、福岡
和歌山、京都





重要なお知らせ

COVID-19支援情報:コロナに負けない心のケア



NCNPは最先端の医療・研究で脳とこころの
病の克服に取り組むナショナル・センターです。

National Center of Neurology and Psychiatry



研究
に関心がある方



精神保健研究所



神経研究所

- > TMC (トランスレーショナル・メディカルセンター)
- > MGC (メディカル・ゲノムセンター)
- > IBIC (脳病態統合イメージングセンター)
- > CBT (認知行動療法センター)

医療
に関心がある方



NCNP病院

臨床研究審査委員会

摂食障害全国支援センター

てんかん全国支援センター

治験・臨床研究について

PADNI (パドニ) パーキンソン病とアルツハイマー病を対象とした臨床研究 [📄](#)

NCNPバイオバンク

行政関連資料



てんかん全国支援センター

国立精神・神経医療研究センター病院てんかんセンターは、
てんかん診療における地域連携体制モデルの確立を行うことを
目的とした「てんかん全国支援センター」に指定されています。

てんかん地域診療
連携体制整備事業について

てんかん支援
拠点病院のご案内

てんかん全国
支援センターについて

てんかん診療支援
コーディネーター認定制度

活動報告

事業報告

関係機関へのリンク

当センターでは、てんかん治療や相談支援、普及活動などのほか、全国支援センターとして、各支援拠点病院から集積したデータの分析・評価、地域連携や支援体制のモデルの研究・開発、全国てんかん対策連絡協議会の設置などを行なっています。

てんかん診療支援コーディネーター認定制度

Epilepsy Support Network JAPAN

てんかん支援ネットワーク

[詳細はこちら](#)

NCNP 病院
てんかんセンター

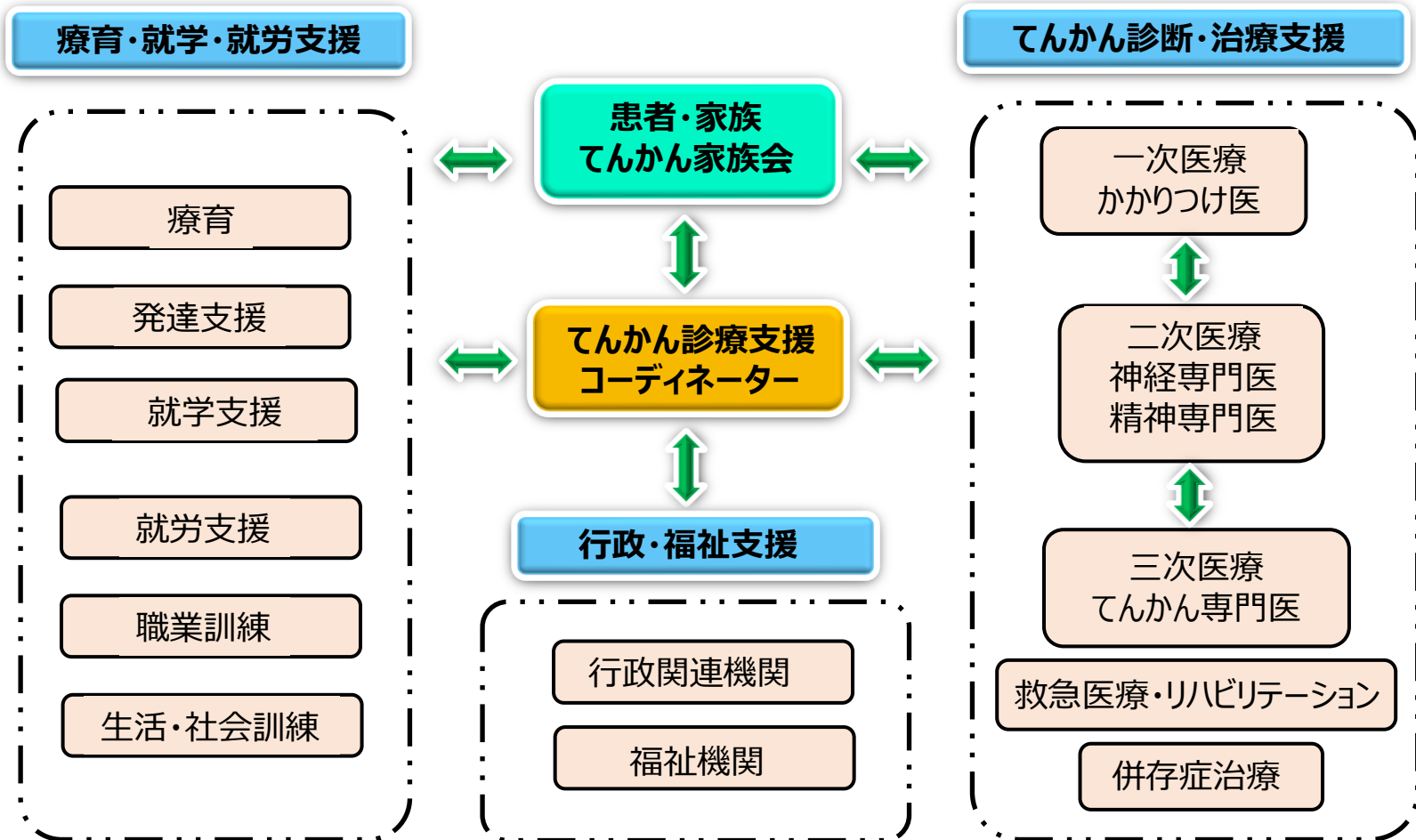
てんかんについて

新着情報

[一覧](#)

- 21.07.26 てんかん診療拠点機関が追加になりました
- 21.05.14 2021年度第1回てんかん診療支援コーディネーター研修会と全国てんかん対策連絡協議会を開催します
(開催日：2021年8月1日(日) ウェビナー形式 申込〆切日：7月24日)
- 21.04.02 活動報告を更新しました
- 21.04.02 事業報告を更新しました
- 21.01.04 活動報告を更新しました

てんかん診療支援コーディネーターの役割



てんかん診療拠点機関診療支援コーディネーター

（役割）

てんかん診療拠点施設において、てんかん診療が円滑に行われるような医療側と患者側の間の調整

（要件）

以下のすべての要件を満たすものである。

- 1) てんかん診療拠点施設に従事するもの
- 2) 社会保険制度、社会福祉制度に関する基本的な知識をもつもの
- 3) てんかんに関する基礎知識をもつもの
- 4) 患者側の不安や心理的ストレスに対する初歩的な心理相談能力をもつもの
- 5) 医療・福祉に関する国家資格を保有するもの

（業務）

- i) てんかん患者及びその家族への専門的な相談支援及び助言
- ii) 管内の連携医療機関等への助言・指導
- iii) 関係機関（精神保健福祉センター、管内の医療機関、保健所、市町村、福祉事務所、公共職業安定所等）との連携・調整
- iv) 医療従事者、関係機関職員、てんかん患者及びその家族等に対する研修の実施
- v) てんかん患者及びその家族、地域住民等への普及啓発

てんかん地域診療連携体制整備事業（厚労省、自治体）における てんかん診療コーディネーター認定制度の整備

てんかん診療支援コーディネーター認定制度

（目的）

てんかん地域診療の裾野を広げるため、てんかん患者・家族と医療機関、福祉、行政機関との橋渡しを行う

（対象）

てんかん地域診療拠点機関ならびに連絡協議会に属する協力機関・施設（医療、福祉、行政）において、てんかん診療に携わる何らかの国家資格を有するもの

（認定のための基本）

基本ポイント（研修会：3時間以上の講義）

- ①てんかん地域診療連携体制整備事業が行う研修会（年2回開催）
- ②JEPICAが行う総会2日間への参加（年1回開催）
- ③地域てんかん診療拠点機関が行う研修会
- ④てんかん学会、国際抗てんかん連盟関連の学会、地方会

上記3回の講座受講で初回認定証を発行する。以降3年間に上記の研修会、学会に6回以上の参加を基本とする。3年ごとに更新する。2020年度から暫定認定証を発行。

てんかん診療拠点講習会

2020年度8月8日（土）、2020年12月19日（土）、2021年2月13～14日JEPICA

2021年度8月1日（日）、2021年12月5日（日）、2022年3月5-6日JEPICA 鹿児島

てんかん診療支援コーディネーター受講証ならびに認定証は全国てんかん拠点機関が発行する

てんかん診療支援コーディネーター認定制度を2020年度から開始

（１）てんかん診療支援コーディネーターの要件

①てんかん診療拠点施設に従事する、②社会保険制度、社会福祉制度に関する基本的な知識をもつ、③てんかんに関する基礎知識をもつ、④患者側の不安や心理的ストレスに対する初歩的な心理相談能力をもつ、⑤医療・福祉に関する国家資格を保有する、ことが条件となる。

（２）てんかん診療支援コーディネーターの具体的業務

①てんかん患者及びその家族への専門的な相談支援及び助言、②管内の連携医療機関等への助言・指導、③関係機関（精神保健福祉センター、管内の医療機関、保健所、市町村、福祉事務所、公共職業安定所等）との連携・調整、④医療従事者、関係機関職員、てんかん患者及びその家族等に対する研修の実施、⑤てんかん患者及びその家族、地域住民等への普及啓発活動

（３）てんかん診療支援コーディネーター認定制度

下記3回の講座受講で初回認定証を発行する。以後、下記の講義・研修を3年間に6回以上受講することが更新条件

①てんかん地域診療連携体制整備事業が行う研修会（年2回開催）、②全国てんかんセンター協議会（JEPICA）での研修会、③各地域てんかん診療拠点機関が行う研修会、④てんかん学会、国際抗てんかん連盟関連の学会・地方会。2020年度から初回認定証交付。

てんかん診療コーディネーター認定制度研修会

① 2020年度第1回てんかん診療支援コーディネーター研修会

日時：2020年8月8日（土）10：00～16：30 ZOOM WEB会議 （55名参加）

1. てんかんの新分類と発達障害：NCNP外来診療部 中川栄二
2. てんかんと精神症状：NCNP精神診療部 谷口 豪
3. てんかんの外科治療：NCNP脳神経外科診療部 岩崎真樹
4. 学校生活上の対応：NCNP小児神経診療部 齋藤貴志
5. 抗てんかん薬の副作用・内服管理の仕方：NCNP薬剤部 大竹将司
6. 使える社会資源・制度について：NCNP医療連携福祉部 澤 恭弘
7. てんかんと精神看護：NCNP看護部 佐伯幸治

② 2020年度第2回てんかん診療支援コーディネーター研修会

日時：2020年12月19日（土）ZOOM WEB会議 （93名参加）

1. 全国てんかん診療拠点事業の現況：NCNP外来診療部 中川栄二
2. 運転免許に関して：NCNP脳神経外科 岩崎真樹
3. 女性のライフスパンとてんかん診療、葉酸含む食育：NCNP脳神経内科 金澤恭子
4. 高齢者てんかんと認知機能障害について：NCNP精神科 谷口 豪
5. 認知行動療法とは：NCNP認知行動療法センター 蟹江絢子
6. てんかん学習プログラム：NCNP精神リハビリテーション 須賀裕輔
7. てんかん外科に必要な看護：NCNP看護部 三嶋健司
8. 精神疾患患者におけるCOVID-19対応と職員のメンタルヘルス：NCNP看護部 佐伯幸治

第8回全国てんかんセンター協議会総会

第3回てんかん診療コーディネーター認定制度研修会

JEPICA
Japan Epilepsy Centre Association
全国てんかんセンター協議会

第8回 全国てんかんセンター協議会総会 東京大会 2021

てんかんを知る

会期 2021年 2月13日(土)～14日(日)

会場 WEB開催 ※会場での開催はございません。

大会長 中川 栄二 国立精神・神経医療研究センター病院 特命副院長、てんかんセンター長

副会長 岩崎 真樹 国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経外科診療部長

事務局長 齋藤 貴志 国立精神・神経医療研究センター病院 小児神経診療部部長

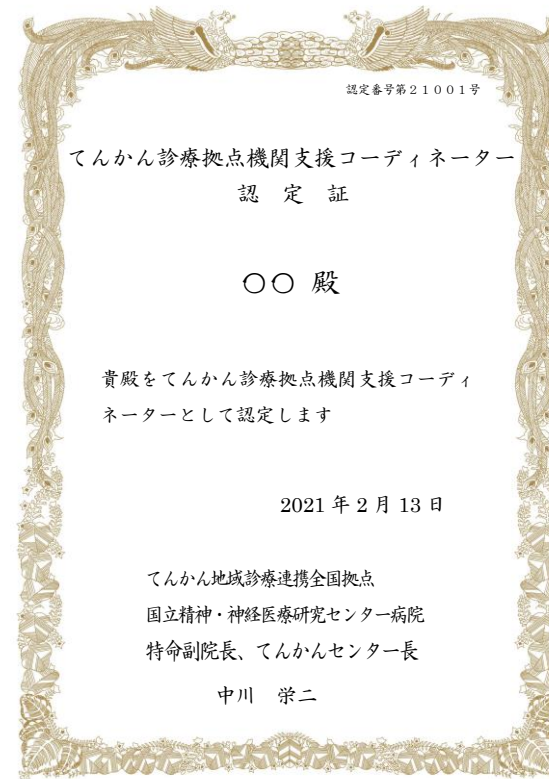
<https://k-con.co.jp/jepica2021/>

大会事務局
国立精神・神経医療研究センター病院 てんかんセンター
〒187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1
Email: tama-shin@ncnp.go.jp

運営事務局
株式会社ケイ・コンベンション内
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-27-2 山本ビル 2階
電話: 03-5367-2382 FAX: 03-5367-2187
E-mail: jepica2021@k-con.co.jp



参加者 271名



- ① 2020年度第1回てんかん診療支援コーディネーター研修会 (55名参加)
- ② 2020年度第2回てんかん診療支援コーディネーター研修会 (93名参加)
- ③ 2020年度第3回てんかん診療コーディネーター認定制度研修会 (271名参加)

2021年5月末時点で6名に認定証交付

てんかん学会認定の「包括的てんかん専門医療施設」

てんかん患者とその家族がてんかんという疾患を克服し身体的、精神的、社会的に充実した幸福な生活をおくるという目的を達成するために、地域医療機関および関連機関と連携して適切な医療とケアを提供するための組織化された高度な専門医療施設。

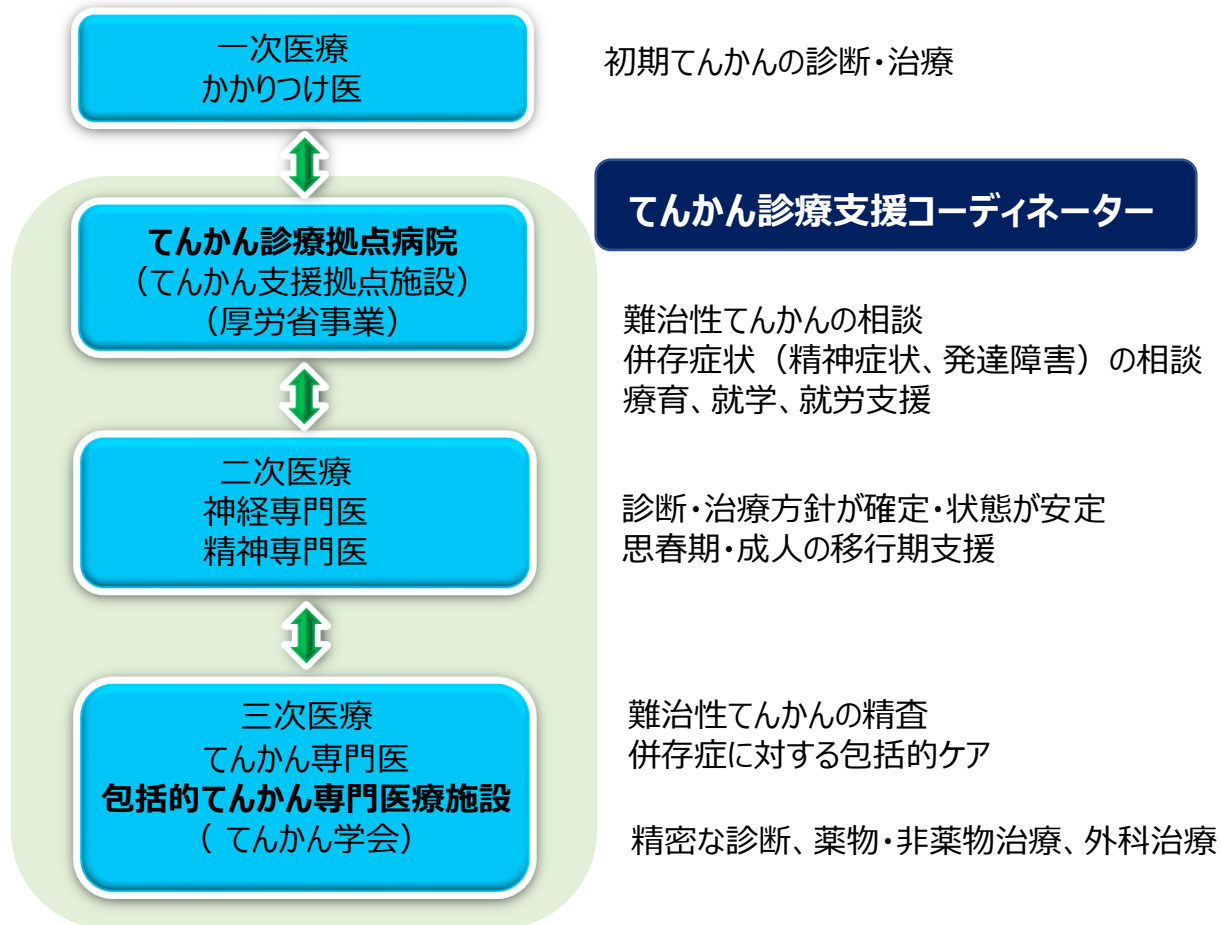
2020年度から包括的てんかん専門医療施設認定制度が開始。

日本てんかん学会 包括的てんかん専門医療施設基準

①日本てんかん学会認定研修施設であること、②日本精神神経学会、日本神経学会、日本脳神経外科学会、および日本小児神経学会が認定する常勤の専門医が各1名以上おり、それぞれは日本てんかん学会が認定する専門医であること、③長時間ビデオ脳波同時記録の実績が年間50件以上であること、④MRI装置を常備する施設であること、⑤てんかん医療を運営するための委員会が組織され、運営委員会はてんかん専門医を含むてんかん診療を担当する医師、看護師、臨床検査技師、社会福祉士ないし精神保健福祉士、**てんかん診療支援コーディネーター**、および連携医療事務によって構成されていること、⑥診療実績が下記の診療実績すべてを満たすこと、てんかん手術を常時実施している。けいれん重積状態に対する入院管理を常時実施している。てんかんに併存する精神医学的問題に対する専門的診断および診療を常時実施している。指定難病や小児慢性特定疾患に合併した薬剤治療抵抗性てんかんの診療を常時実施していることが認定条件となっている。

2021年4月1日現在、全国では15の施設が認定された。

てんかん診療支援の流れ



* 2020 年度 **包括的てんかん専門医療施設**（2021年4月1日付で認定）

東京医科歯科大学病院、徳島大学病院、広島大学病院、自治医科大学病院、長崎医療センター、京都大学病院、**国立精神・神経医療研究センター病院**、札幌医科大学病院、西新潟中央病院、静岡てんかん・神経医療センター、大阪市立大学病院、都立神経病院、東北大学病院、北海道大学病院、鹿児島大学病院 以上15施設

てんかん支援ネットワーク構築

てんかん
支援
ネットワーク

MENU

ホーム

一般の方/
ご家族の方へ

てんかん医療に
関わっている方へ

てんかん支援
ネットワーク施設一覧

てんかん
支援
ネットワーク

Epilepsy
Support Network
JAPAN

このサイトはてんかんの地域診療連携の推進を目的として
厚生労働省・都道府県およびてんかん学会・てんかん協会の支援を
下にてんかん地域診療連携体制整備事業により運営されています。

お知らせ
Information

2021/03/00 ホームページをリニューアルしました。

一覧へ >

約1,000医療機関登録

てんかん支援ネットワーク施設一覧 Network

※但し、てんかんの診療次元が二次診療以上と自己申告している施設



 北海道	 東北	 関東・甲信越	 中部・北陸
 近畿	 中国	 四国	 九州・沖縄

てんかん
支援 Epilepsy
Support Network
ネットワーク

[サイトポリシー](#)

[お問い合わせ](#)





てんかん支援ネットワーク 施設一覧

Network

てんかん支援ネットワーク施設一覧には、都道府県ごとにてんかんの専門診療が可能な施設が郵便番号順に掲載されています。受診を希望される際には、てんかんという病気に関する情報、専門医に関する情報、及び各施設のホームページなどを参考にして、お近くのクリニックや病院の窓口に直接お問い合わせ下さい。



関東・甲信越

栃木県

群馬県

茨城県

埼玉県

千葉県

東京都

神奈川県

新潟県

長野県

山梨県

千葉県

施設名	登録 医師数	診療科	〒	施設住所	電話番号
望葉会 日下医院 	1	精神科	260-0041	千葉県千葉市中央区東千葉1-1-1	043-287-6156
同和会 脳神経内科 千葉 	1	脳神経内科	260-0045	千葉県千葉市中央区弁天1-2-12 弁天町沼澤ビル3F	043-207-6011
医療法人社団 誠馨会 千葉メディカルセンター 	1	神経内科	260-0842	千葉県千葉市中央区南町1?11?12	043-261-5111
千葉大学医学部附属病院 脳神経内科 	1	脳神経内科	260-8677	千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1	043-222-7171
美浜神経内科 	1	神経内科	261-0004	千葉県千葉市美浜区高洲3-23-2 稲毛海岸ビル1F	043-303-5670
医療法人社団和則会 玉井こどもクリニック	1	小児科	261-0013	千葉県千葉市美浜区打瀬3-5 マリンフォート2-102	043-350-3300
千葉県こども病院 神経内科	1	神経内科	266-0007	千葉県千葉市緑区辺田町597-1	043-292-2111
東葛病院 内科 	1	内科	270-0153	千葉県流山市中102-1	04-7159-1011
ほしの脳神経クリニック	1	脳神経外科	270-1166	千葉県我孫子市我孫子4-43-17	04-7182-7171
雅厚生会 千葉新都市ラーバンククリニック 	1	脳神経外科	270-1337	千葉県印西市草深138	0476-40-7711
日本医科大学 千葉北総病院 小児科 	1	小児科	270-1694	千葉県印西市鎌苅1715	0476-99-1111
社団わかば会 松戸クリニック	1	小児科	270-2242	千葉県松戸市仲井町1-3	047-362-4148
松戸脳神経内科	1	脳神経内科	271-0043	千葉県松戸市旭町1-160	047-344-

行政、医療、患者からの遠隔診療（オンライン診療）への期待

厚生労働省

2018年3月：オンライン診療の適切な実施に関する指針
「オンライン診療の適切な実施に関する指針」の策定について
(令和元年7月一部改訂)



国際抗てんかん連盟

2020年9月
COVID19流行下でさらに需要が増える
対面と比べて診療に大きな差がなかった

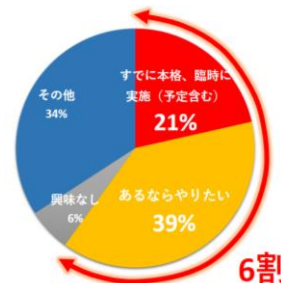


難治てんかん児の家族

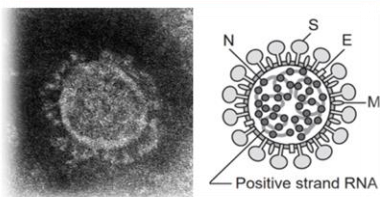
2020年5月
nanacara（てんかんPHR）等を利用した遠隔診療調査
6割が遠隔診療を希望

てんかんがある子どもと家族への影響とは？ 新型コロナウイルス感染症と与える診療と生活への影響調査レポート

遠隔（オンライン）診療
についてどう思いますか？



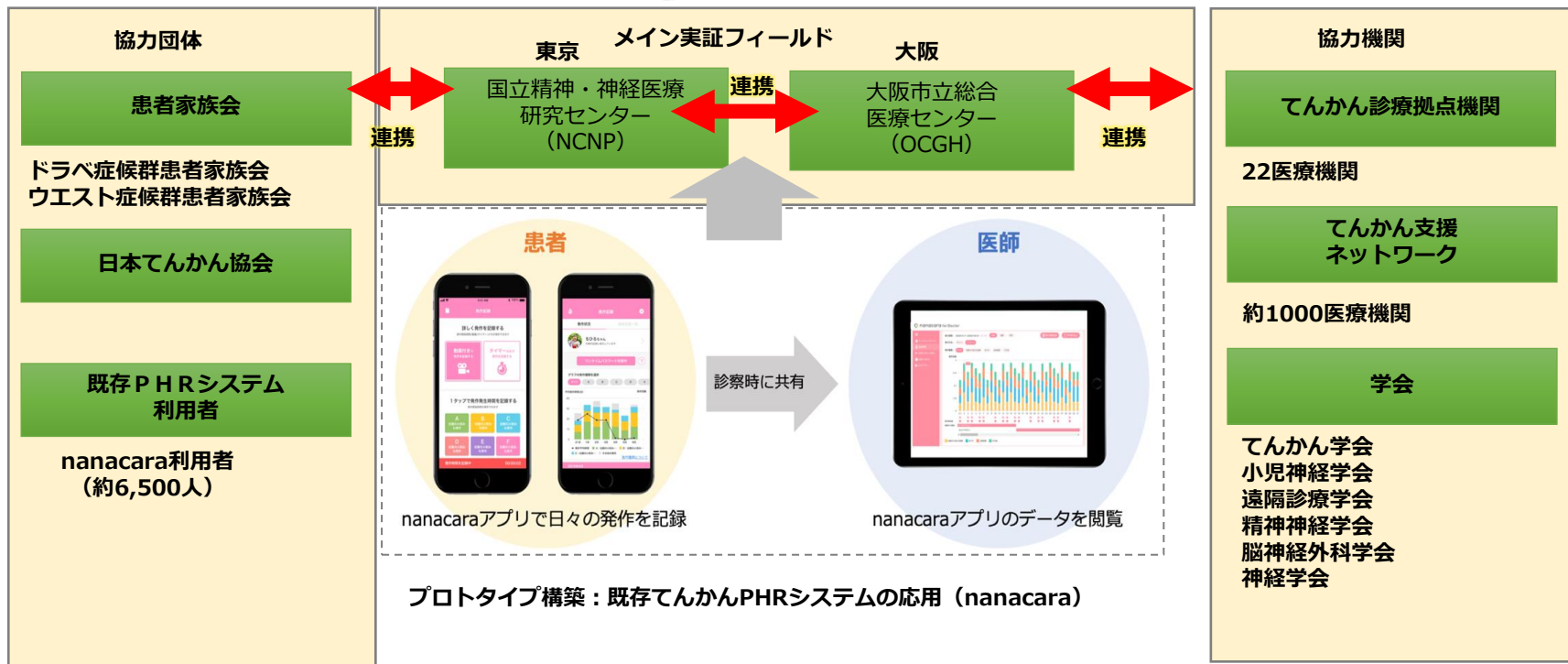
6割



COVID19流行下で
てんかんにおける
遠隔診療の需要が危急となる
➡内服薬の確保は不可欠であり
現場では不十分な体制で
実施せざるを得ない例も

てんかんアプリ nanacara を用いた遠隔診療の推進

PHR(personal health record)を用いた遠隔診療システムの実態調査とニーズ調査
 PHRを用いた遠隔医療システムの質的量的調査
 PHRと連携した遠隔診療の推進



PHRを用いた診療に活用可能な遠隔診療システムおよびビジネスモデルの検討

てんかんPHRと連動した遠隔診療デバイスの開発研究で遠隔診療推進

てんかんPHRと連動した遠隔診療デバイスの開発研究で遠隔診療推進



てんかんに特化した
遠隔診療デバイス
開発研究

PHR利用 (蓄積データと現状を可視化)
問診負担軽減・状況把握精度向上
➔診察精度向上、医師負担軽減

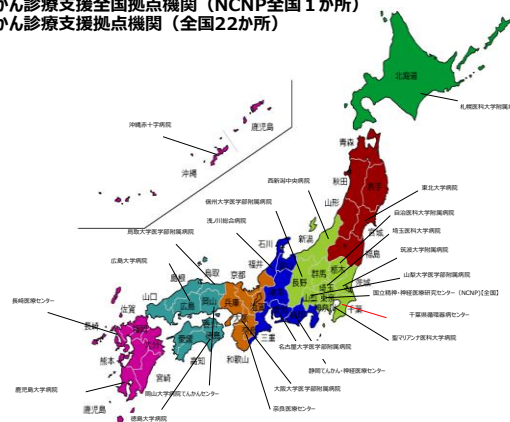
厚労省・自治体 てんかん地域診療連携体制整備事業
てんかん診療全国拠点機関及びてんかん診療支援拠点機関
(令和3年7月1日現在)

てんかん診療支援全国拠点機関 (NCNP全国1か所)
てんかん診療支援拠点機関 (全国22か所)



PHRは家族入力であり、
医師負担なくバックデータ蓄積

➔遠隔診療の広がりを
リアルタイムで理解可能
➔てんかん診療の向上にも



てんかん遠隔診療が日本中に広がり患者
(特に重症例) や家族の負担軽減

第二部 全国てんかん対策連絡協議会

1. てんかん診療拠点事業の現況
2. てんかん診療支援コーディネーター認定制度について
3. てんかん診療ネットワークと遠隔医療
4. **2021年第2回てんかん診療支援コーディネーター研修会と
全国てんかん対策連絡協議会
2021年12月5日（日）（予備日12月12日（日）） 予定**
5. **2021年第3回てんかん診療支援コーディネーター研修会
2022年第9回JEPICA 3月5日～6日 鹿児島**
4. 各施設からの意見、コメント
・2020年度新規拠点機関からの挨拶
5. 2021年度事業報告書の作成 2022年2月18日（金）

2021年度第3回てんかん診療支援コーディネーター研修会

写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟

第9回 全国てんかんセンター 協議会総会

鹿児島大会 2022

会期 2022年3月5日(土)・6日(日)

会場 かがしま県民交流センター

大会長 花谷 亮典

鹿児島大学病院てんかんセンター センター長
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学 准教授



かがしま県民交流センター